

本太中だより

第6号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和6年9月27日

その先どうなるのかを考える スマートフォン等の使い方に関して

校長 田中 一秀

先日の合唱コンクールでは、どのクラスも練習の成果を発揮し、聴く人に感動を与える素晴らしい歌声を披露してくれました。多くの声を重ねることによって生まれるハーモニーの美しさという合唱が持つ最大の魅力を感じました。また、校庭では、駅伝大会に向けた練習も本格的に行われています。生徒の頑張りや、その生徒に真剣に向き合い指導している本校の教員、本太中には日常的にこのような光景が広がっています。保護者や地域の皆様には、「本太中に行こう」を合言葉にさせていただき、本校にさらなる関心を持っていただきたいと思います。

さて、SNSにより、友だちなどつながって、文章や写真、動画などで自分を表現したり、コミュニケーションしたりすることが容易にできるようになりました。昔であれば手紙でやり取りをしていましたが、それでは時間はかかりますし、写真や動画での表現にも限りがあります。私も友人とのSNSによるやり取りで、近況や様々な実践、研究を知るなど、SNSを有効なツールとして活用しています。SNSを活用することで、離れた場所に住んでいても瞬時に、そして継続的に人とのつながりが維持できるので、私はSNSを活用しない手はないと考えています。

しかし、対面でのリアルな対話ではなく文字で思いを伝えることは、人が同じ物語を読んでも感じ方が違うように、相手に自分の思いを正確に伝えるのは難しいものです。例えば「〇〇さんは、いつもおもしろくない」、「〇〇さんは、いつもおもしろくない？」で考えてみます。前者と後者の違いは文末に「？」が付いているかいないかだけですが、私はこの2つの文章を見て、まったく反対の意味に捉えます。前者はそのまんま「おもしろくない」と否定的なもの、後者は「自分（文章を書いた人）はおもしろいと思っており、相手に同意を求めると」という肯定的な意味に捉えます。そのように考えると、文末に「？」をつけただけで、自分の思いが全く逆に相手に伝わってしまうことになります。リアルな会話であれば、同じ言葉でも言い方や雰囲気や自分の思いが相手に伝わりますが、文字だけではこのようにいきません。ここに、SNSの恐ろしさを感じます。その他、相手の了解を得ずに個人情報に関することや写真を投稿し、人を傷つけたり個人情報と思わぬところで悪用されたりとトラブルに巻き込まれることもあります。さらには、SNSの使い過ぎから健康を害することもあるそうです。

このようなトラブルはどこでも起こることで、本太中でも起こっています。学校では「携帯インターネット安全教室」で、様々な角度から有効に活用する方法や、やってはいけないことを指導していますが、残念ながらトラブルが起こっているのが現実です。パソコンやスマートフォンは、正しく使えば便利なものです。しかし、正しく使わなければ、相手を傷つける、自分も困ることになるものです。そして、そんなことは誰だって知っていることですが、自分がやっていること、やろうとしていることが、どのようなことになるのかという点の想像力が乏しいことがあります。学校としては、子どもがスマートフォンなどを所持すること自体を推奨するものでも、否定するものでもありません。子どもにスマートフォン等を持たせるかどうかの判断、またその管理については、ご家庭の判断です。お子様がインターネットやスマートフォン等を賢く使いこなす大人に成長するよう、保護者の皆様にはお子様を見守り続けていただきますようお願いいたします。

世界中の人が瞬時に繋がることのできるツールだからこそ、誰もが喜ぶ、誰もが嬉しい、そんな交流をしていきたい。そのためのルールやモラルを守り続けていかなければならないと思います。